

指定廃棄物 最終処分場

候補地の現地調査

国・県は押し付け中止を！ 特措法と「基本方針」は見直しを！

7月20日（日）

〈深山嶽〉 栗原市
〈田代岳〉 加美町
〈下原地区〉 大和町

10時…栗原市役所前に集合。
車で深山牧場へ（50分）
徒歩で深山嶽に（20分）
案内と説明は現地の住民運動に依頼。
長靴は必須。好天なら展望台で交流。
（深山牧場で解散予定 12時45分）

14時30分…宮崎支所前に集合。
車で田代岳へ（40分）
徒歩で候補地に（5分）
案内と説明は加美町総務課に依頼。
（田代岳で解散予定 15時45分）

17時30分…下原地区の候補地に。
18時00分…「権現茶屋」に到着。
（店主の早坂富士夫氏に説明を依頼）

●集合場所と集合時刻、調査の行程
—一カ所だけ、二カ所だけの参加もできます—



加美町・田代岳の調査。崩れやすい岩質の水源地で、地滑りだらけ、処分場には不適だ。樹木が枯れる強風地帯で、この日も強い風が。ここに焼却炉を設置する計画も、疑問だ（7月4日）

自分の目で確かめ、
現地の人々と交流を

【ご案内】 この現地調査は、誰でも無料で参加できます。自治体の担当者や現地住民の方々に案内していただき、交流します。「候補地」が「適地」なのか、各自が確かめ、最終処分場問題をいっしょに考えましょう。

◇ 環境省は、放射性物質を含む指定廃棄物の最終処分場の候補地として、県内の3カ所を選考しました。ところが、「岩手・宮城内陸地震の崩落地」（栗原市・深山嶽）、「地滑りの対策が必要な場所」（加美町・田代岳）、「王城寺原演習場の緩衝地帯」（大和町・下原地区）で、すべて水源地です。適地とは言えない場所ばかりで、白紙撤回が当然です。住民処分場の立地は住民合意が原則です。住民

の生存権と密接に関わるからです。水源地の汚染防止は下流域を含む全県的な問題です。ところが安倍政権と村井知事は、現地の市町や住民の声を無視して、一カ所を押し付けようとしています。自治体と住民に矛盾と犠牲を押し付けるのは、根本的な誤りです。

自治体の意見も住民合意も無視できる強権を国に与えている放射性廃棄物汚染処理特措法と、各県に一カ所の最終処分場を強要している政府の「基本方針」を見直しさせることが緊急に求められています。原発事故を引き起こした東電と政府の負担・責任で、問題の解決を進める道に転換させましょう。

〈主催〉 東日本大震災復興・復興支援
みやぎ県民センター

参加希望者は下記に記入し、18日までにFAX022（399）6925まで送信して下さい。
お問い合わせは、電話022（399）6907までお寄せください。

氏名		調査に参加する箇所に○を	栗原市	加美町	大和町	権現茶屋
住所		連絡先				

※現地は国有林内なので、入山者の氏名の事前届け出が必要です。「遅くとも2日前まで連絡」を厳守して下さい。

日よけ、飲み物、長靴をご用意ください。それぞれの集合場所までは、各自の責任で移動してください。

加美町・田代岳から大和町・下原までは、連絡をとりあいながら移動します。藤巻博・大和町議が案内します。

※「権現茶屋」では食事を注文します。米軍演習に伴う移転、誤射や跳弾を経験した早坂店主からお話を伺います。